

はやま もり  
**麓山の杜みどり通信**

発行元 公園振興事務所「とんがりふれあい館」  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17  
TEL924-2194 FAX924-2195

# 緑は暑さを和らげます。

緑のカーテン「フウセンカズラ」



平成24年度「みどり講習会」

次回 9月 9日(日)午前・午後開催  
場所 麓山の杜『杜のエントランス』

テーマ「記念樹の育て方初歩講座」  
時間 午前 10:30 午後 13:00

※ワンポイント 秋咲きの(モクセイ&サザンカ)  
植え付けや管理について

記念樹交付「10時～15時」他は事務所へ

ガーデニング  
ワンポイント

## 植物も水分を欲しがっています

ロンドンオリンピックも熱く燃えています、それ以上に日本列島は猛暑に包まれています。夏だからと言ってしまえばそれまでですが、異常といえるような暑さが続いています。夜間も温度が下がらずヒートアイランド現象がおきています。ただそれでも木陰やそこをふく風に心地よさを感じます。

【水やり】 高温で雨が極端に少ないこの時期は水やりを怠ると枯らしてしまいます。特に今年植えた樹木などはまだ根の張りも少ないので水の管理は必要です。毎日少しずつあげるのではなく、乾いたらたっぷりあげるのがコツですよ。朝夕の二回が必要な時期です。腐葉土を表面に敷いて乾燥を防ぐのも一つの方法です。ただし日中の水やりは厳禁です。水やりは意外と難しい作業です。

【肥料】 多くの樹種はこの時期にはあげません。秋の彼岸頃まで待ちます。

【病害虫防除】 一回目のアメリカシロヒトリの発生は少なく済みました。しかし今月下旬には二回目の発生があります。拡がる前に退治することが大切です。カツラマルカイガラムシによる樹木の衰退が見られます。特に落葉樹がその被害を受けやすく森林でも出ています。アブラムシには予防の意味合いでアセフェート粒剤の定期的な散布が効果的です。また大事な松を守るのには枯れの原因となるマツノマダラカミキリを防除する薬剤散布が必要になります。葉が白い粉をふいた様なうどんこ病もハナミズキやサルスベリなど多くの樹種に出ています。薬剤散布が必要になりますが、その場合は注意書きを守り安全に使用するようにしましょう。

【剪定】 郡山近郊では月遅れのお盆にあわせて庭木の剪定をする場合が多くみられます。ただし総ての樹木に言えますがこれからの時期は剪定をやり過ぎないようにします。葉の量が少なくと光合成が少なく丈夫に育つことができなくなります。除染の為にということで強剪定をして線量を下げたいという場合も同じことがいえます。特に酷暑の今年は剪定は控えめにします。そして剪定後には水やりをして葉が痛むことを防ぎます。

【植え替え】 この時期はどの樹種もむきません。

## 記念樹交付日イベント・緑化相談等予定表

次回交付日	みどり講習会	季節のワンポイント
9月9日	記念樹の育て方初歩講座	秋咲きの（モクセイ&サザンカ） 植え付けや管理について

## 意外と知らない植物の世界

今月のみどり通信では何度も暑い夏と書きましたが、植物も同じようにこの暑さにじっと耐えて動く訳にもいかず生きています。水分が足りないと葉の気孔を閉じ蒸散を抑えます。ただしこの様な状態になってしまうと光合成や成長などに障害がでます。その時に水分の補給がなければ萎れそして枯れてしまいます。萎れが戻らない時点を過ぎてからはいくら水をやっても生き返ることはありません。では植物はどのようにして水を何十メートルもの枝先まで届けるのでしょうか。ポンプのように押し上げるだけでは限界があります。葉が水分を蒸散することによる吸い上げる力などにより高さ数十メートルまで水が行きわたるのです。落葉樹などで特に枝先が枯れている樹木をみかけますが、これは水分の通導障害が考えられます。樹木は木部とよばれるまだ若い部分にある通導組織を通して水は運ばれます。でもストローのようにになっている訳ではありません。細胞を次から次へとつなぎながら水分を押し上げていきます。ブナの幹に耳をあてると水の流れる音が聞こえるという事がいわれますが…？ 実際は聞こえないかもしれませんがそれはそれで自然の息吹を感じロマンがありますよね。先に書きましたが永久萎凋点を過ぎてしまっからいくら水をあげても手遅れですので、注意が必要です。特に根の浅い樹木や植えて間もない場合は顕著です。また逆に乾燥に丈夫な植物も存在します。そういう植物は乾燥に耐えられるような構造に変化して耐性を持っています。また過湿という反対の状況も植物にとっては致命的となります。

### 街で見かけた植物

#### 【ハツユキカズラ】

テイカカズラの一様で常緑のツル性のグラウンドカバーです。先日の苔玉でも材料として使いました。葉は革質で光沢があります。新梢が白色や桃色をおびてとてもきれいです。地面を這うように育ちますので樹木の下に合わせて色を楽しみ植え込みます。病虫害もほとんど無く丈夫です。梅雨の時期に挿し木で殖やします。

